

～ シリアル・ルネッサンス～ <http://www.riceisland.co.jp>

FOODEX JAPAN 2004[®] レポート

2004年3月9日～3月12日まで幕張メッセ(千葉県)で開催されました「FOOD>EX JAPAN 2004」に出展致しました。アジア最大の食品のトレードショーで、本年の国内出展者は746社(昨年は794社)海外出展者1719社(昨年は1551社)、来場者数105487名(昨年は9892名)と国内企業の出展数は減少したものの来場者数は過去最高を記録したそうです。(主催者発表)

今回のFOODEXでは弊社も含め雑穀を使用した商品の展示が増えていたように思われます。

石川商店様、宝山様、真誠様、こだま食品様などの雑穀ブレンドや岩手県ブース様の五穀パン、井村屋製菓様の五穀ごはんの素、日清シスコ様の五穀フレークなどなど。

一方、発芽玄米の目を向けると昨年、一昨年と比べ少なくなった印象を受け、発芽玄米の次の商材として、雑穀が注目されつつあるのではないのでしょうか。弊社のブースにお越しいただきましたお客様も、雑穀について年々、より具体的な質問が多く、関心の高さが伺えました。

その他の特徴としましては、酒類の展示の中で特に焼酎が目立っていましたやはり、最近の焼酎ブームのおかげではないのでしょうか。まだまだブームは続きそうです。



デパ地下、スーパーの惣菜といった人気の中食についても「美味しい」「手軽」といった要素だけでなく、健康・本物志向といったニーズに合わせて、各メーカー様が新商品の開発に取り組んでいました。牛肉や鶏肉の安全性が問われる中、穀物または穀物を原料とした商品が多く見られました。中食・惣菜コーナーでは、商品開発・マーケティングセミナーも開催され中食に対する関心の高さが伺えます。

また、豆乳や大豆加工食品の展示も多く見られました。

中国の経済成長を背景に大豆などの穀物が世界的に不足するということも出てきています。大部分を輸入に頼っている日本は今後、

国内の自給率を上げる具体的な対策が必要になってきます。

冒頭でも触れましたが、海外ブースの出展が活発な中、国内ブースの元気の無さが目立った今回のFOODEXでした。次号のレポートでは弊社のブースをご紹介します。

来週のR.I レポートは、「FOODEX レポート」です。3/22お届けです